

司法試験 CBT 化についてのお知らせ

岡山大学大学院法務研究科

法務省は、司法試験について、「令和 8 年試験から短答式試験及び論文式試験のいずれにも CBT 試験（CBT=Computer Based Testing：ノートパソコンを使用した試験）を導入することを目指しています。」との案内を令和 6 年 11 月 29 日付で、法省の WEB ページに掲載しました。そして、試験で使用するパソコンのスペックについて、以下のアナウンスを行っています。

（参照 法務省 WEB ページ：司法試験及び司法試験予備試験のデジタル化について）

【使用するパソコンについて】

Q 8 CBT 試験で使用するパソコンのスペック等について教えてください。

A 全試験場で同等のスペックを有するノートパソコンを用意することを予定しています。用意するノートパソコンは、以下の基準を満たすものとする予定です。

- ・ OS：Windows 11 Pro
- ・ CPU：1.5 GHz 以上のマルチコアプロセッサ
- ・ メモリ：8GB 以上
- ・ 画面解像度：1920×1080 ピクセル以上
- ・ モニターサイズ：16 インチ以上（モニターの対角線の長さが 40.6cm 以上）
- ・ ネットワークインターフェース：IEEE802.11ac 対応

Q 9 CBT 試験で使用するノートパソコンのキーボード配列について教えてください。

A Windows の日本語用キーボードで、106 キーボード、108/109 キーボード、112 キーボードのいずれかを予定しています。

岡山大学大学院法務研究科でも、司法試験の CBT 化に対応するため、期末試験の一部の科目について CBT で実施することを現在検討しております。なお、本研究科では、学内試験での CBT に用いるノートパソコンは大学側が用意することは考えておらず、学生の私物を使用させる方向で検討しております。

司法試験に向けて、パソコンでの答案作成に慣れることが必要ですので、本試験で使用するのと同様のスペックのノートパソコンを入手することが望ましいですが、法務省が示した上記スペックは、あくまで令和 6 年 11 月 29 日時点のものであり、「今後の CBT システムの開発状況等によって変更となる可能性があります。」との但書もあり、学生の皆さんにとっては購入時期の判断が難しいところです。

さしあたって、本研究科では、ノートパソコンを急いで用意することも、しばらく購入を待つよう指示する予定もありません。買い替えなどのタイミングがあれば、上記情報を参考にしてください。

なお、新年度のオリエンテーションの企画として、CBT 体験会を 4 月 8 日に総合研究棟 2 階の共同研究室で開催する予定です。詳細については別途案内を行う予定です。

以上